



ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

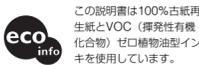
警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故につながることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER ICD-B40

© 2005 Sony Corporation Printed in China

http://www.sony.co.jp/



警告 安全のために

- 事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 安全のための注意事項を守る
 - 故障したら使わない
 - 万一異常が起きたときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に表示を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<p>危険</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が起きます。</p>	<p>注意を促す記号</p> <p>火災 感電</p>
<p>警告</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。</p>	<p>行為を禁止する記号</p> <p>禁止 分解禁止</p>
<p>注意</p> <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</p>	

警告

内部に水や異物を落とさない
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店やソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

注意

内部を開けない
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンレシーバーで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・膨脹による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 乾電池が液漏れしたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外袋のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

充電式の電池を使用する場合のご注意

- 本機では、充電式電池も使用できます。
- 充電電池で満充電状態でも、本機に入れたときにバッテリー残量表示がフル状態を示さない場合があります。
- 電池の持続時間は、アルカリ乾電池よりも短くなります。
- 充電電池を充電する際に本機から電池を抜く必要があるため、その間に別の充電電池または乾電池を入れておかないと、充電のたびに時計設定が初期状態に戻ってしまいます。
- 充電器は常温で使用してください。
- 充電電池および充電器は、以下の製品をご利用ください。
－充電式ニッケル水素電池：NH-AAA-4BE
－充電式ニッケル水素電池専用急速充電器：BCG-34HRE

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。



Ni-MH

準備 2：電池を準備する

使用できる電池と充電電池

- 本機では、以下の乾電池、充電電池をお使いになれます。
- 単4形アルカリ乾電池2本 (付属)
 - 単4形充電式ニッケル水素電池 (別売り)：NH-AAA-4BE
- 充電器は、以下の製品をご利用ください。
- 充電式ニッケル水素電池専用急速充電器 (別売り)：BCG-34HRE

ご注意

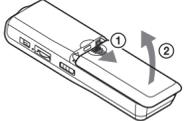
乾電池は電池のメーカーや種類によって性能のばらつきがあり、使用時間の目安に対して特に低温下では短くなる場合があります。

使用できない電池

マンガン電池

準備 3：電池を入れる

1 電池ふたを矢印の方向へずらして開ける。



2 単4形アルカリ乾電池 (付属) を2本入れ、ふたを閉める。



電池ふたは落としたり、無理な力を加えたりすることはできません。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を交換したとき、日付表示が点滅します。
[準備4: 時計を合わせる]の手順2~3をご覧ください。

電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。
[点滅] が点滅したら、電池を交換してください。
[点滅] が点滅すると電源が切れ、操作ができなくなります。

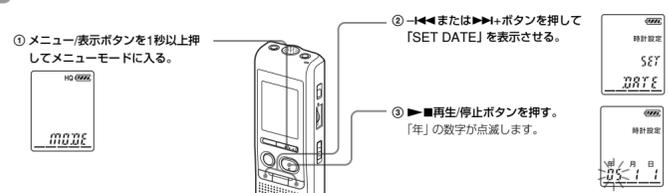
ご注意

- 乾電池を交換する際、消耗した電池を抜いて新しい乾電池を入れると、時計設定画面 (日付表示が点滅) に戻ってしまいます。この場合は時計を合わせ直してください。なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 別売りのAC/ワープアダプターAC-E30L使用時は、電池残量表示は表示されません。

準備 4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 時計設定画面を表示する。



2 年月日を合わせる。



3 時分を合わせる。



●本機には電源スイッチはありません。表示窓には常に表示が出ています。

基本的な使いかた

要件を録音する

本機に99件まで要件を録音できます。
●録音一時停止ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音追加されるので、テープのように録音されていない部分を探さなくて、すぐに録音が始めます。例：[要件1] [要件2] [新しい要件] [空きスペース]

1 録音モードを選ぶ。

設定方法については、裏面「録音モードを設定する」をご覧ください。

2 録音を始める。



3 録音を止める。



録音一時停止ボタンを押すと、録音一時停止音が鳴ります。録音一時停止中に押し続けると、録音が解除され、今録音したところから早戻し (レビュー) 再生が始まります。ボタンを離すと、録音一時停止音が鳴ります。録音一時停止中に押し続けると、録音が解除され、今録音したところから早戻し (レビュー) 再生が始まります。ボタンを離すと、録音一時停止音が鳴ります。録音一時停止中に押し続けると、録音が解除され、今録音したところから早戻し (レビュー) 再生が始まります。ボタンを離すと、録音一時停止音が鳴ります。

録音可能時間について
最大録音時間は下記のとおりです。録音可能な残り時間は「残り時間表示モード」で確認できます。

録音モード	SPモード*	LPモード**
15時間55分	40時間20分	66時間20分
15時間55分	40時間20分	66時間20分

* HQモード：高音質モード
** SPモード：標準モード
*** LPモード：長時間モード

●OPRランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は電池をはずしたり、AC/ワープアダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

- イヤホンジャックにオーディオコードをつないでいるときは、内蔵マイクでの録音はできません。つないだ機器またはコードをはずしてください。
- 録音中、本機に手などがあつたり、こすったりすると録音が録音されてしまうことがあります。
- よい良い音質で録音したいときは、メニューの「MODE」(録音モード) でHQモードを選んでください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。
- 長時間録音途中の電池交換を避けたいときは、別売りのAC/ワープアダプターAC-E30Lをお使いください。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

メモリー残量表示について

残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。
録音中に残り時間が5分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンター表示が点滅します。不要な要件を消去してください。

録音した要件を聞く

あらかじめ録音してある要件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。今録音したばかりの要件を聞くには、手順2から行ってください。

1 要件番号を選ぶ。



イヤホンレシーバーで聞くには
付属または別売りのイヤホンレシーバーをイヤホンジャックに差し込みます。スピーカーからは音がなくなりません。録音が入るときは、イヤホンレシーバーのプラグをきれいに拭いてください。

同じ要件を繰り返し聞くには
1件リピート再生
再生中に再生/停止ボタンを1秒以上押し続けます。[C]が表示され、その要件が繰り返し再生されます。
●普通の再生に戻すには：再生/停止ボタンを押します。
●リピート再生を止めるには：再生/停止ボタンを押します。

再生中に早送り/早戻しするには (キュー/レビュー)

- 早送り (キュー)：再生中に再生/停止ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
 - 早戻し (レビュー)：再生中に再生/停止ボタンを押したままにして、聞きたいところまで戻ります。
- 最初は少しずつ早送り/早戻しされるので、1部分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り/早戻しになります。早送り/早戻し中は、表示モードの設定に関係なく、カウンター表示になります。

2 再生を始める。



最後の要件の終わりで再生が止まると、「END」表示が5秒間点滅します。点滅中はOPRランプは緑に点灯しつづけます。(再生音は聞こえません。)

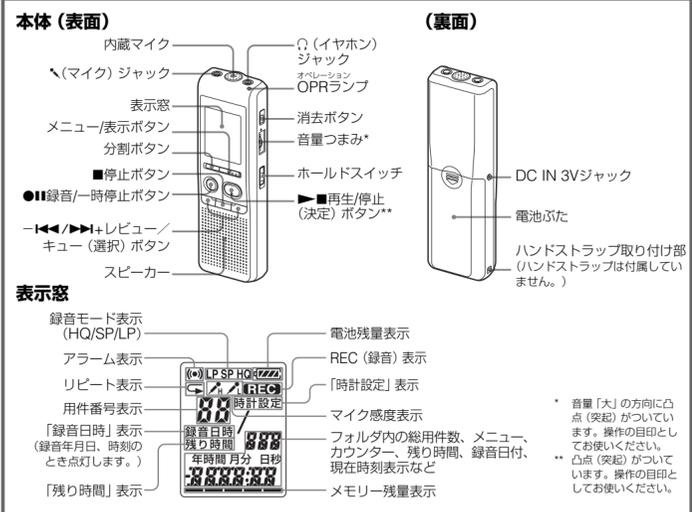
- 「END」の点滅中に再生/停止ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。
- 最後の要件が長時間の要件の場合、要件中の後ろの方を探して再生したい場合は、再生/停止ボタンを押したままにすると、連続して戻ります。
- 次の要件に進む
再生/停止ボタンを短く1回押す。
●再生/停止ボタンを押す。再生/停止ボタンを押したままにすると、連続して進みます。
- 最後の要件以外の場合は、次の要件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのできない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダーなどに録音してください。詳しくは、別冊の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

各部のなまえ



- 音量「大」の方向に凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。
- 凸点 (突起) がついています。操作の目印としてお使いください。

▶いろいろな録音方法

用途に合わせてマイクを使う

外部マイクと内蔵マイクの使い方について

- 内蔵マイクは標準感度、全指向性マイクロホンです。口述録音や会議の録音では内蔵マイクのご使用をおすすめします。(口述録音時はメニューでマイク感度設定を「L(低感度)」に、会議録音時は「H(高感度)」に設定してください。)

- 付属の外部マイクは録音で、周囲の音を抑え、目的の音をクリアに録音する単一指向性マイクロホンです。講義、講演会の録音やインタビューの録音のときは、外部マイクのご使用をおすすめします。(話者との距離が遠い場合は、メニューでマイク感度を「H(高感度)」に設定することで、より上手な録音ができます。)

内蔵マイクの感度を切り換える

メニューでマイク感度設定を切り換え、用途に合わせて、内蔵マイクの感度を選ぶことができます。

- メニュー/表示ボタンを1秒以上押ししてメニューモードに入る。



- ←←または▶▶+ボタンで「SENS」を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

- ←←または▶▶+ボタンで、「H(高感度)」または「L(低感度)」を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

- メニュー/表示ボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。



H(高感度):小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。

L(低感度):口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使います。

外部マイクで録音する

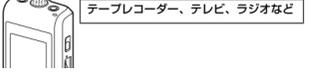
本機のハ(マイク)ジャックに付属または別売りのミニプラグ付きマイクロホンをつなぎます。外部マイクをつなぎると、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

他の機器を使って録音する

他の機器の音声を録音する

他の機器の音声を録音するには、本機のハ(マイク)ジャックと他の機器(テープレコーダーやテレビ、ラジオなど)のイヤホン端子を、別売りのオーディオコード(抵抗入り)を使ってつなぎます。

ハ(マイク)ジャックへ
 イヤホンジャックへ



- ご注意** ICレコーダーへの入力に抵抗なしオーディオコードを使用すると音声で途切れて録音されることがあります。必ず抵抗入りオーディオコードをお使いください。

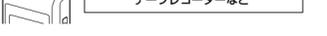
電話の音声を録音する

イヤホン型マイク (ECM-TL1) (別売り) を使って、本機で固定電話や携帯電話の録音ができます。また、テレホンコーディングアダプター (別売り) を使って 固定電話の音声で録音できます。詳しくは、お使いになるアダプターなどの取扱説明書をご覧ください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器で本機の音声を録音する場合は、本機のイヤホンジャックと他の機器の音声入力端子 (ミニプラグ) につなぎます。

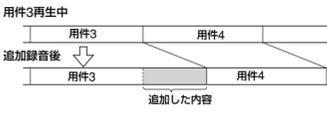
イヤホンジャックへ
 音声入力端子 (ミニプラグ) へ



その他の接続方法については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。新しく追加した内容は、再生中の用件の最後に再生中の用件の一部として追加されます。



- 再生中に**●**||録音/一時停止ボタンを1秒以上押す。「REC」が表示され、「ADD」が3秒間点滅します。OPRランプは赤になります。再生中の用件に追加録音されます。

- 停止ボタンを押して録音を止める。

- ご注意** メモリ残量が不足している場合は追加録音できません。詳しくは「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

音がしたとき自動的に録音を始める—デジタルVOR機能

メニューでデジタルVOR (自動音声スイッチ) を「ON」にすると音がしたときに自動的に録音できます。

ON: ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。

OFF: **●**||録音/一時停止ボタンで録音を開始、停止します。(初期設定)

- メニュー/表示ボタンを1秒以上押ししてメニューモードに入る。

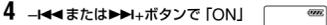


- ←←または▶▶+ボタンで「VOR OFF」(または「VOR ON」)を選ぶ。



- ▶**再生/停止ボタンを押す。「OFF」(または「ON」)が点滅します。

- ←←または▶▶+ボタンで「ON」または「OFF」を選び、**▶**再生/停止ボタンを押す。



- メニュー/表示ボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。

VORを「ON」に設定し、**●**||録音/一時停止ボタンを押して、録音を始めると、「VOR」が表示されます。音が小さくなり録音が自動的に一時停止すると、「VOR PAUSE」が点滅します。

- ご注意** VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせて、メニューでマイク感度設定を「H(高感度)」または「L(低感度)」に切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「OFF」にしてください。

録音モードを設定する

メニューで、用途に応じて録音モードを設定します。
HQ: 音質を重視する大切な録音 (初期設定)。
SP: 通常の録音。
LP: 音質を重視しない簡易な録音。

- メニュー/表示ボタンを1秒以上押ししてメニューモードに入る。

- ▶**再生/停止ボタンを押す。「HQ」(または「SP」、「LP」)が点滅します。

- ←←または▶▶+ボタンで選択したい録音モードを選び、**▶**再生/停止ボタンを押す。

- メニュー/表示ボタンを押す。設定が有効になり、通常の画面に戻ります。設定された録音モードが表示されます。

▶いろいろな編集、再生、設定方法

録音した用件を消去する

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。

用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。



消去後
 用件の番号が繰り上がる

- 消去ボタンを1秒以上押す。確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件が10回再生されます。



- 「ERASE」の点滅中に消去ボタンをもう1度押す。

用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。

(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。)

途中で消去をやめるには手順2の前に**■**停止ボタンを押します。

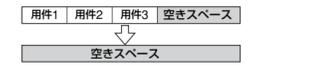
他の用件を消去するには手順1と2を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには用件分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を手順1と2の操作をします。

- ご注意** 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。

すべての用件を一度に消去する

すべての用件を一度に消去することができます。



- 停止ボタンを押しながら、消去ボタンを1秒以上押す。用件番号と「ALL ERASE」が10秒間点滅します。

- 点滅している間に消去ボタンを押す。

途中で消去をやめるには手順2の前に**■**停止ボタンを押します。

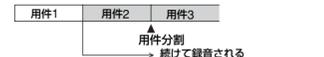
用件をふたつに分ける—用件分割

録音または再生中、用件分割をするとひとつの用件がふたつに分かれ、その場所が新しい用件番号がつきます。会議など1件の用件が長時間になったとき、用件分割をすると、再生したい場所がすばやく探せて便利です。用件数が99件になるまで用件分割できます。

- ご注意**
 - 用件数がすでに99件の場合は用件分割はできません。
 - 分割した用件は再結合できません。
 - 頻繁に用件分割をすると、分割ができなくなることがあります。
 - アラーム設定した用件を分割すると、分割した後の用件にはアラーム設定は残りません。
 - 用件のはじめから1秒までと終わりから1秒までの間では用件分割はできません。
 - 録音中に頻繁に用件分割してから次の操作をしたとき、OPRランプが点滅し、操作を受け付けるとまでの時間が長くなることがあります。故障ではありません。ランプが消えるまでお待ちください。

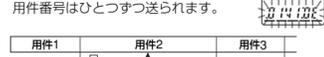
録音または再生中に、用件を分割をしたいところで分割ボタンを押す。

- 録音中に押したときは: 押したところから新しい用件番号がつき、その番号と「DIVIDE」が3秒間点滅します。ふたつの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。



録音一時停止中でも用件分割できます。

- 再生中に押したときは:** 押したところで用件が分割され、新しい用件番号と「DIVIDE」が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ減らします。



用件分割した部分を探して聞くと、分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に←←または▶▶+ボタンを押して再生する部分を探してください。

希望の時刻に再生を始める

—アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。アラーム音だけを鳴らすこともできます。

- 再生したい用件を表示させ。

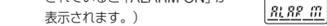


消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

- 消去ボタンを1秒以上押す。確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件が10回再生されます。



■消去ボタンを1秒以上押す。確認音が鳴り、用件番号と「ERASE」が点滅し、消去したい用件が10回再生されます。

用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。

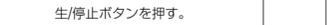
(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。)

途中で消去をやめるには手順2の前に**■**停止ボタンを押します。

他の用件を消去するには手順1と2を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには用件分割で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を手順1と2の操作をします。

- ご注意** 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。



消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

消去前
 用件1 用件2 用件3 用件4

用件3を消去する
 用件1 用件2 用件3 用件4

消去後
 用件の番号が繰り上がる

アラーム設定内容を変更するには

手順1~2を行い、現在設定されているアラーム再生日が表示されたら手順3~7で新しい内容で設定します。

- ご注意
 - 時計設定されていない場合は、「時間設定、SET DATE」が表示され、アラーム設定できません。
 - すでに他の用件でアラーム設定されているのと同じ時刻を設定しようとする、「PRE SET」が表示され、アラーム設定はできません。
 - 現在時刻より前の時間にアラーム設定しようとする「[BACK-D]」が表示されアラーム設定はできません。
 - アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
 - 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、録音終了後にアラーム音が鳴ります。「**!**」のみが点滅します。
 - 録音中にふたつ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ再生されます。
 - メニューモード中にアラーム設定時刻になった時は、メニューモードが中止され、アラームが鳴ります。
 - アラーム再生を設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
 - アラーム再生を設定した用件を分割した場合、分けた点より前の部分のみアラーム再生されます。
 - 再生音の大きさは、音量つまみで調節できます。ちょうど良い音量に設定しておいてください。
 - 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときに約10秒間アラーム音が鳴り、用件が再生されます。
 - 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

設定を変える

メニューで、録音モードやピーブ音を設定できます。

- メニュー/表示ボタンを1秒以上押ししてメニューモードに入る。

- ▶▶+または←←ボタンで設定したい項目を選び、▶再生/停止ボタンを押す。

- ←←または▶▶+ボタンでモードを選び、▶再生/停止ボタンを押して決定する。

- メニュー/表示ボタンを押してメニューモードを終了する。

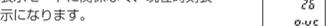
メニュー	設定項目 (*初期設定)
MODE	用途に応じて録音モードを設定します。(HQ*/SPLP)
SENS	マイク感度を設定します。(H*/L)
VOR	デジタルVORを設定します。(ON/OFF*)
SET DATE	時計を設定します。(05年11月1日)
BEEP	操作時の受け付け確認やエラーのピーブ音を鳴らさないように設定できます。ON*: 操作時の受け付け確認音およびエラー音(ビビビ)が鳴ります。OFF: 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません(アラームは鳴ります)。
ALARM	アラーム再生を設定します。(ON/OFF*)

* 初期設定。

表示を切り換える

メニュー/表示ボタンを押すと下記のように表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた表示モードになります。

- ◎** 現在時刻表示について 停止中に3秒以上何も操作しないと、表示モードに関係なく、現在時刻表示になります。



カウンター表示モード
ひとつの用件の中の経過時間を表示します。



残り時間表示モード
停止中、録音中は録音可能な残り時間を表示します。再生中は、その用件の残り時間を表示します。



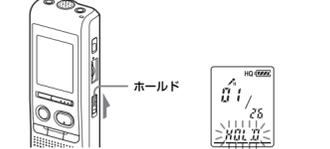
録音年月日表示モード
用件を録音した日付を表示します。(時計を合わせていない場合は「--年--月--日」と表示されます。)

録音時刻表示モード
用件を録音した時刻を表示します。(時計を合わせていない場合は「--:--」と表示されます。)

カウンター表示モードに戻る

▶その他

誤操作を防止する—ホールド機能



本機には、電源スイッチはありません。表示部には常に表示が出ていますが、電池の持続時間にはほとんど影響はありません。

誤操作を防止するには、ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。「ホールド」が3秒間表示され、すべてのボタンが操作できなくなります。

表示を消すには、停止中にホールドスイッチを矢印の方向にずらします。

ホールドを解除するには
表示を出し、操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらします。

- ご注意 録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

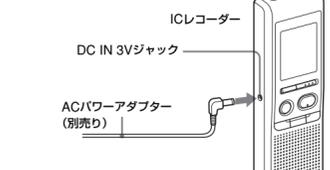
◎ **ホールド中でもアラーム再生は止められます。**アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには**■**停止ボタンは使えます。(通常の用件再生は停止できません。)



家庭用電源につないで使う

長時間録音などをする場合は、家庭用電源 (コンセント) で使っても、電池消耗の心配がなくて便利です。

- DC IN 3Vジャックに、別売りのACパワーアダプターAC-E30Lをつなぐ。



- ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

- ご注意
 - この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L (慢性統一型プラグ-JEITA規格) をご使用ください。上記以外のAC(V)アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

録音中(OPRランプが赤に点灯・点滅中) やアクセス中(OPRランプがオレンジに点滅中) はAC(V)アダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

なお、用件数が多いと、「ACCESS」表示が長時間表示される場合がありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

電池の持続時間が短い。
乾電池の持続時間は、音量つまみ「4」付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です。使用条件によっては短くなる場合があります。

なお、用件数が多いと、「ACCESS」表示が長時間表示される場合がありますが、故障ではありません。表示が消